

教育委員会

教育行財政	- 1
学校教育	- 3
社会教育・文化財	- 11
博物館	- 13
図書館	- 17
市民スポーツ	- 21
青少年行政	- 23
人権教育	- 26
教育・視聴覚センター	- 28

教育行財政

教育委員会開催状況

(平成22年)

会 議	議 案 件 数
15回	24件

審議状況

(平成22年)

	条 例	規 則	規 程	要 綱
制 定	件	1 件	1 件	件
廃 止				
改正(全部)				
“(一部)”		6	2	

市内の教育機関

(平成22年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年生大学	校	人	校	人	2校	1,417人	2校	1,417人
高校全日制			9	7,663	4	2,667	13	10,330
定 時 制			2	631			2	631
通 信 制			1	1,078	1	741	2	1,819
中 学 校	22	8,659			3	800	25	9,459
小 学 校	40	18,136			1	438	41	18,574
幼 稚 園	24	1,253			15	3,346	39	4,599

市内児童・生徒数の推移(公立)

(平成22年5月1日現在)

年度	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校
	計	計	計
平成13	1,479	17,698	8,815
14	1,477	17,559	8,632
15	1,551	17,439	8,406
16	1,481	17,562	8,266
17	1,631	18,432	8,470
18	1,619	18,396	8,610
19	1,603	18,363	8,565
20	1,527	18,469	8,613
21	1,372	18,496	8,501
22	1,253	18,136	8,659

教育費

(単位：千円)

費目	平成20年度	21	22
教育費 (A)	8,396,049	8,657,496	8,419,444
教育総務費	2,577,792	2,985,541	2,644,332
小学校費	2,262,729	2,215,891	2,234,979
中学校費	957,883	1,048,674	967,277
幼稚園費	872,901	844,439	836,475
社会教育費	1,045,913	1,029,175	1,228,442
保健体育費	678,831	533,776	507,939
一般会計歳出額 (B)	106,639,696	107,134,534	100,696,988
一般会計の中で教育費の占める割合 (A/B)	7.9%	8.1%	8.4%

児童1人当たり教育費 いずれも建設関係費を除く。(単位：円)

	平成20年度	21	22
小学校	102,451	95,024	93,715
中学校	78,275	88,600	97,429
幼稚園	76,126	83,255	99,146

学校施設整備状況 (主要建設事業)

(単位：千円)

事業	年度	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		校	事業費	校	事業費	校	事業費
小学校	校舎新增築	-	-	1	52,311	1	199,116
	危険等校舎改築	-	-	-	-	-	-
	バリアフリー化改修	2	70,656	3	28,064	2	96,647
	給食室改修	1	53,972	1	42,270	1	37,091
中学校	校舎新增築	-	-	1	67,091	-	-
	バリアフリー化改修	1	41,213	2	18,436	-	-

学校備品の整備状況

(単位：千円)

校種	区分(備品)	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	理科教育等教材・管理	17,788		30,336	791	41,677	-
	保健	771		1,216		737	-
	給食	4,666	4,075	2,919	3,645	4,056	1,838
中学校	理科教育等教材・管理	19,283		29,485	-	25,816	-
	保健	791		682	-	518	-
	給食	5,084		16,300	-	1,453	-
幼稚園	保育・管理	6,837		6,032	-	4,198	
	保健	0		11	-	140	
共同調理場	給食	353	-	90	-	0	
合計		55,573	4,075	87,071	4,436	78,595	1,838

学 校 教 育

学校教育ビジョン

基本方針 新しい時代をたくましく切り拓いていく子どもの育成

自分で生活・学習していこうとする力の育成 <自立>

他とともに生活したり学んだりしていこうとする力の育成 <共生>

自分の生き方や学び方の質をさらに高めようとする力や向上心の育成 <チャレンジ>

めざす子どもの姿

生きる力

確かな学力 基礎的・基本的な学力を着実に習得し、健全な社会人として生きるための基礎・基本を身につけた子ども

健康・体力 たくましく生きるための健康や体力を備えた子ども

豊かな人間性 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を備えた子ども

共に生きる力

コミュニケーション力

他の意見を聞き、自分の思いを伝える力を身につけた子ども

互いに向上する人間関係

互いに切磋琢磨し向上しようとする子どもたち

平成22年度学校教育指導方針

指導の力点 ・ 生きる力・共に生きる力の育成

- ・ 保護者・地域の信頼に応え、共につくる園・学校
- ・ 教職員の資質・能力の向上

具体方針 幼稚園教育 ・ 生きる力・共に生きる力の基礎を育成する。

・ 連携を重視した園運営を推進する。

小・中学校教育 ・ 確かな学力を育成する。

・ 豊かな人間性を育成する。

・ 健康な心と体を育成する。

・ 社会の変化に対応し、主体的に生きる力を育成する。

特別支援教育 ・ 障害のある子どもの自立や社会参加するための力を育成する。

人権教育 ・ 人権を尊重し、差別をなくす実践力を育成する。

園・学校づくり ・ 家庭や地域の信頼に応える学校づくりを推進する。

教職員の資質・能力の向上

・ 教職員の実践的指導力を高める効果的な研修を実施する。

家庭・地域の教育との連携

・ 家庭・地域との対話を大切にしたい、共に進める子育てを推進する。

特別支援教育

1. 特別支援学級の設置状況(H22.4.1 現在)

学級の種類	小 学 校		中 学 校	
	校 数	学級数	校 数	学級数
知的障害	35	38	18	19
自閉症・情緒障害	31	31	14	14
肢体不自由	9	9	2	2
難聴	1	1	1	1
通級指導教室 (言語)	2	4	0	0
通級指導教室 (情緒等)	1	1	0	0

2. 特別支援学級在籍児童生徒数(H22.5.1 現在)

区分	知的障害	情緒障害	肢体不自由	難聴	計
小学校	154	106	15	4	279
中学校	75	34	3	4	116
計	229	140	18	8	395

保健・給食

学校給食は、成長期にある児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食事習慣を身につけさせ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送るための基礎を培うことを目指している。

- ・ 主食は、地場産の特別栽培米を利用して炊いた米飯給食を週2.5回実施している。パンは県内産の小麦粉を30%混入して、地元業者で焼いたパン給食を週2.5回実施している。
- ・ 副食は「みえ地物一番給食の日」を中心に、旬のもので可能な限り地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。
- ・ 中学校21校(楠中学校を除く)では市教育委員会が栄養バランスのとれた献立作成や食材の選定に十分に関わって、民間給食業者によるデリバリー方式の給食を実施している。
- ・ 幼稚園23園(塩浜幼稚園を除く)では民間給食業者によるデリバリー方式の給食を週1回実施している。

1. 学校給食実施状況

(平成22年度)

区 分	小 学 校	中 学 校	中 学 校 (デリバリー方式)	幼 稚 園 (デリバリー方式)	
実 施 校 数	40校	1校	21校	23園	
対 象 人 員	19,529人	352人	8,331人	1,253人	
調 理 員 数	229人	-	-	-	
1食当たり額	パ ン	48円55銭	-	-	
	米 飯	59円36銭	-	-	
	牛 乳	47円54銭	-	-	
	パン副食	148円35銭	-	-	
	米飯副食	137円54銭	-	-	
1食当たり経費	244円44銭	280円	300円	-	
年間実施予定回数	189回	165回	165回	年長 36回 年少 30回	
徴 収 額 (1ヶ月)	高 学 年	4,300円	4,200円	(一食) 300円	1,000円
	低 学 年	4,100円			

調理員内訳 正職員46人 再任用職員4人 パート職員112人 民間委託67人

2. 栄養摂取量（小学校）（平成22年度）

エネルギー		647kcal
たん白質		25.5 g
脂 肪		21.4 g
カルシウム		356 mg
ビタミン	A	352 μ gRE
	B ₁	0.47 mg
	B ₂	0.60 mg
	C	32 mg

3. 学校災害件数及び医療費給付額（金額単位：千円）

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
幼稚園	52	548	46	459	37	439
小学校	1,252	41,844	1,146	9,951	1,033	8,527
中学校	1,122	11,855	1,049	12,003	1,237	14,315
合計	2,426	54,247	2,241	22,413	2,307	23,281

4. 保健担当者一覧（平成22年5月1日現在）

職名	配置状況	人員数
学校医	1校・園1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	65人
学校歯科医		90人
学校薬剤師	本務小学校21人、中学校10人	35人
保健主事	各小・中学校1人	62人
養護教諭	”（日永小・川島小各2人） （海蔵小巡回養護を含み2人）	65人

5. 学年別体位と平均値（22年度）

区分		男 子						女 子					
		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)	
		全国	四日市	全国	四日市	全国	四日市	全国	四日市	全国	四日市	全国	四日市
幼	5	110.7	110.3	19.0	18.7	61.9	61.9	109.8	109.2	18.6	18.3	61.5	61.2
小	6	116.7	115.9	21.4	21.1	64.9	64.6	115.8	115.1	21.0	20.6	64.5	64.3
	7	122.5	122.6	24.0	24.2	67.6	67.7	121.7	121.5	23.5	23.6	67.3	67.2
	8	128.2	127.8	27.2	26.8	70.3	70.1	127.4	127.1	26.5	26.3	70.0	69.8
	9	133.5	133.0	30.5	29.9	72.7	72.4	133.5	133.1	30.0	29.6	72.7	72.5
	10	138.8	138.2	34.1	33.6	74.9	74.5	140.2	139.6	34.1	33.4	75.9	75.7
	11	145.0	143.8	38.4	37.3	77.6	76.8	146.8	146.6	39.0	38.4	79.2	79.2
中	12	152.4	151.5	44.1	42.9	81.3	81.0	151.9	151.5	43.8	42.9	82.1	82.2
	13	159.7	158.9	49.2	48.1	85.0	84.6	155.0	154.5	47.3	46.7	83.8	83.7
	14	165.1	164.7	54.4	53.4	88.1	88.0	156.5	156.2	50.0	49.3	84.8	85.1

奨学金事業

1. 貸与内容 (平成22年度)

名 称	四日市市奨学会
対象者	経済的理由により就学困難な四日市市民又はその子
【貸与額】大学、短大、専修学校(専門課程)	23,000円/月 入学支度金 35,000円
【貸与額】高校、高専、専修学校(高等課程)等	12,000円/月 入学支度金 30,000円

2. 貸与状況 (新規貸与者数)

年度	高校生 (専修学校)	大学生 (専修学校)	合計
平成16	2	27 (3)	29(3)
17	11	32 (12)	43(12)
18	12	29 (4)	41(4)
19	8	29 (6)	37(6)
20	9	31 (6)	40(6)
21	13	18 (2)	31(2)
22	20	23 (9)	43(9)

()は専修学校で内数

3. 奨学金の返還

事 項	返還開始日	返還月数	返還方法	返 還 日
	卒業1年後	10年を限度	年賦	毎年1月末日まで

私学助成

(平成22年度)

私立学校の教育条件の維持向上並びに経営の健全性を高める次の助成措置を行う。

区 分	運営費補助(設置者補助)	教員研修費補助
幼稚園	1園年額 400,000円 + (100円 × 園児数) + (670円 × 内科検診実施園児数) + (440円 × 歯科検診実施園児数)	(園長 + 教員) × 10,000円
小・中学校、高等学校等	市内在住児童1人年額 市内に設置されている学校の場合 3,800円 市外に設置されている学校の場合 3,000円	

就学援助

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

22年度実績

(単位:円)

区 分	金 額
小 学 校	116,584,853
中 学 校	75,894,742
計	192,479,595

就園奨励

幼稚園教育の振興を図るため、市内の公私立幼稚園に就園する園児の保護者(市民)に対し、世帯の経済状況に応じ、入園料・保育料の減免(補助)措置を講じる。

市立小・中学校、幼稚園一覧

1.小学校

(平成22年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数	児童数	学級数		保有教室数	
							普通	特別
中部西	北町 2-23	明 5.3.15	人 27	人 359	12	(3)	14	7
浜田	北浜田町 13-6	明 8.9.20	25	533	15	(1)	20	7
西橋北	川原町 25-22	大 5.5.20	12	161	6	(1)	11	6
東橋北	東新町 26-32	昭 11.8.21	12	71	6	(1)	10	6
海蔵	大字東阿倉川 578-1	明 8.7.1	39	817	22	(3)	26	6
塩浜	塩浜町 1	明 8.11.2	17	219	8	(2)	16	6
三浜	海山道町一丁目 1532-1	昭 31.4.1	13	92	6	(2)	9	7
富田	富田一丁目 24-49	明 20.7.1	34	664	20	(3)	26	7
富洲原	富洲原町 31-14	明 9.9.30	30	619	18	(2)	24	8
羽津	大宮町 16-35	明 7.5.10	26	480	14	(3)	23	7
常磐	城西町 9-14	明 8.12.5	42	843	24	(3)	32	8
日永	日永四丁目 5-13	明 8.11.10	35	671	19	(2)	25	6
四郷	西日野 3207-1	明 9.2.4	22	417	12	(2)	27	7
内部	采女町 888-1	明 7.2.3	27	571	18	(1)	18	6
小山田	山田町 1373-1	明 8.12.1	16	214	8	(2)	13	6
河原田	河原田町 70	明 8.11.9	16	244	9	(1)	12	6
川島	川島町 2046	明 8.11.28	42	851	24	(3)	29	6
神前	曾井町 493-1	明 8.2.4	20	336	12	(1)	14	6
桜	桜町 1257	明 8.7.1	27	480	15	(2)	24	7
梶	赤水町 1002	明 7.5.4	23	435	13	(2)	21	6
三重	東坂部町 222-2	明 8.11.1	22	429	12	(2)	17	6
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7.3.16	41	840	25	(2)	28	7
八郷	平津町 99-1	明 25.6.1	29	568	18	(2)	23	7
下野	朝明町 475-1	明 9.3.1	22	443	13	(2)	22	7
保々	西村町 2741	明 7.4.25	28	532	17	(1)	20	6
水沢	水沢町 2491	明 8.12.4	15	230	8	(1)	11	6
高花平	高花平二丁目 1	昭 38.5.7	17	286	10	(2)	13	6
泊山	大字日永 5530-19	昭 46.4.1	32	528	17	(4)	19	6
笹川東	笹川六丁目 25	昭 48.4.1	20	265	9	(3)	21	6
常磐西	大字松本 764	昭 48.4.1	34	708	20	(3)	28	6
笹川西	笹川五丁目 62	昭 50.4.1	22	273	11	(2)	25	6
三重西	三重三丁目 129	昭 50.4.1	24	442	13	(2)	29	7
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50.4.1	27	564	18	(2)	22	6
桜台	桜台一丁目 32	昭 52.4.1	20	372	12	(2)	18	7
三重北	山之一色町 90	昭 53.4.1	21	340	12	(2)	16	7
八郷西	萱生町 1086	昭 53.4.1	14	238	7	(1)	10	6

羽津北	大字羽津 500	昭 57.4.1	26	488	15	(2)	19	6
内部東	采女町 423-4	昭 59.4.1	30	623	18	(2)	24	6
中央	元新町 2-36	平 7.4.1	15	207	7	(1)	13	8
楠	楠町北五味塚 2060-9	明 8.11.20	31	683	19	(1)	27	9
合 計〔40校〕			995	18136	562	(79)	798	266

2. 中学校

(平成22年5月1日現在)

校 名	所 在 地	創立年月日	教職員数	生徒数	学級数	保有教室数		
						普通	特別	
中部	西浦二丁目 5-36	昭 22.4.15	人	人	10	(2)	15	10
橋北	高浜町 1-4	昭 22.4.15	14	121	4	(1)	7	8
港	十七軒町 10-41	昭 22.4.15	20	227	7	(2)	7	8
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22.4.15	20	149	6	(2)	12	10
山手	大字東阿倉川 70	昭 22.4.15	37	598	16	(2)	20	10
富田	東茂福町 4-19	昭 22.4.15	20	268	8	(1)	16	8
富洲原	天ヶ須賀五丁目 3-10	昭 22.4.15	22	317	9	(1)	15	8
笹川	西日野町 268-2	昭 22.4.15	28	402	11	(2)	17	10
南	前田町 18-17	昭 22.4.15	39	639	17	(2)	21	11
三滝	高角町 2068-2	昭 22.4. 1	28	459	13	(1)	16	9
大池	下海老町 2662-1	昭 22.4. 1	35	536	15	(2)	22	10
朝明	平津町 409-2	昭 22.4. 1	42	710	19	(2)	21	9
保々	西村町 2787-2	昭 22.4.15	18	197	6	(1)	10	8
常磐	大字松本 810	昭 48.4. 1	39	624	17	(2)	22	10
西陵	西山町 7229	昭 51.4. 1	19	224	6	(2)	12	8
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51.4. 1	26	269	9	(2)	18	10
三重平	三重八丁目 1	昭 52.4. 1	21	291	9	(1)	15	10
羽津	大字羽津甲 26	昭 54.4. 1	28	452	12	(2)	16	8
西朝明	北山町 1169	昭 54.4. 1	24	353	9	(2)	16	8
桜	桜町 1064	昭 57.4. 1	28	496	13	(2)	20	10
内部	波木町 697	昭 60.4. 1	36	634	17	(1)	18	9
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22.4.15	22	328	9	(1)	14	11
合 計〔22校〕			595	8659	242	(36)	350	203

()内は特別支援学級数を示した外数

用務員・調理員は教職員数から除く

3. 幼稚園

(平成22年5月1日現在)

園名	所在地	創立年月日	教職員数	園児数	学級数
四日市	元町 10-4	明 28.10.1	3 (2)	59	2
橋北	高浜町 1-4	昭 31. 5.10	2 (2)	17	1
富田	富田 1 丁目 24-26	大 15. 7. 3	4 (2)	55	2
海蔵	大字東阿倉川 580	昭 22. 6.18	4 (5)	92	4
納屋	蔵町 5-8	昭 28.10.26	2 (2)	16	1
泊山	前田町 1-19	昭 21.11. 4	4 (7)	112	4
内部	采女町 911	昭 29. 5. 1	4 (4)	104	4
川島	川島町 1725-1	昭 29. 4.10	3 (2)	51	2
神前	高角町 338-1	昭 28. 4.10	4 (1)	23	1
三重	東坂部町 110-1	昭 29. 5. 5	3 (2)	28	2
保々	西村町 2738	昭 31. 4.10	4 (2)	47	2
下野	朝明町 464	昭 37. 4. 1	3 (2)	43	2
羽津	大宮西町 19-22	昭 40. 4. 1	3 (4)	77	4
富洲原	富洲原町 31-14	昭 41. 4. 1	3 (4)	40	2
高花平	高花平 2 丁目 1-56	昭 44. 4. 1	3 (2)	30	2
大矢知	大矢知町 3255	昭 46. 4. 1	2 (3)	61	2
八郷中央	千代田町 265-1	昭 47. 4. 1	3 (2)	27	2
桜	桜町 1420	昭 48. 4. 1	4 (4)	61	2
常磐中央	ときわ五丁目 4-53	昭 49. 4. 1	5 (5)	103	4
塩浜	大字塩浜 887-1	昭 50. 4. 1	2 (1)	18	1
笹川中央	笹川三丁目 157	昭 52. 4. 1	3 (6)	42	2
三重西	三重三丁目 130	昭 52. 4. 1	2 (3)	27	1
楠北	楠町北五味塚 2060-63	昭 39. 4.	4 (4)	88	4
楠南	楠町南五味塚 275 - 1	昭 45.11. 5	2 (3)	32	2
合 計〔24 園〕			76 (74)	1253	55

()は嘱託、臨時等で外数

用務員は、教職員数からは除く

橋北幼、塩浜幼は、混合1クラスで算出

私立小・中学校、幼稚園一覧（市内）

1.私立小・中学校

（平成22年5月1日現在）

学 校 名	所 在 地	創 立 年	教 員 数	児 童 ・ 生 徒	学 級 数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3-37	昭23	34人	438人	18
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	33	510	15
海 星 中 学 校	追分一丁目9-34	昭31	35	161	7
メリノール女子学院中学校	平尾町2800	昭38	14	129	6
合 計〔4校〕			116	1,238	46

教員数には兼務者を含む

2.私立幼稚園

（平成22年5月1日現在）

園 名	所 在 地	創 立 年 月 日	教 員 数	園 児 数	学 級 数
暁	天カ須賀五丁目2-5	昭21	19人	213人	10
双 葉	三栄町5-3	昭12	2	1	1
工 ン ゼ ル	千代田町459	昭31	24	449	16
富 田 文 化	大字茂福905-4	昭35	23	177	9
羽 津 文 化	別名五丁目4-31	昭46	26	245	11
ひ か り	伊倉二丁目8-23	昭36	22	260	9
ま き ば	松本三丁目1-37	昭46	12	139	7
海 の 星 カ ト リ ッ ク	十七軒町2-4	昭39	6	69	3
あ お い	大矢知町2700	昭42	45	432	17
桜 あ お い	智積町6104	昭53	31	296	11
と き わ	西松本町15-10	昭44	26	270	9
津 田 第 一	笹川一丁目106-2	昭47	36	350	13
津 田 第 二	笹川七丁目52	昭49	14	164	7
津 田 三 滝	川島町6513	昭53	16	169	7
め ぐ み の 園	室山町475-1	平 7	18	112	5
合 計〔15園〕			320	3,346	135

教員数には兼務者を含む

社会教育・文化財

社会教育

<平成22年度主要事業>

(1) 社会教育関係団体の支援

四日市市PTA連絡協議会が設立目的にあった活動ができるよう支援した。

(2) 学校施設（教室）開放の推進

地域住民の学習活動、地域活動を推進するため、40小学校3中学校で学校施設（教室）開放を行った。

(3) 子どもの読書活動推進

「四日市市子どもの読書活動推進計画」に基づいて、市民を中心とした推進会議を開催し、事業等の進捗状況に対する意見や提言を受け啓発活動に努めた。

文化財

四日市市で生まれ、培われてきた文化財は、地域への愛着や郷土意識を生み出す重要な文化資源であり、それらの保護・活用は、市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせるまちづくりの一助となるものである。

そこで、これらの文化財を保護するとともに、その活用を図り、文化財に対する市民の関心と理解を深めることに努めた。

<平成22年度主要事業>

1 文化財の指定

- ・浜松茂 玄関棟・さつき棟（国登録有形文化財 平成22年9月10登録）
- ・アミカン 本社事務所・正門・煉瓦塀（国登録有形文化財 平成22年9月10登録）
- ・富田の石取祭（市指定無形民俗文化財 平成23年1月13日指定）

2 文化財の調査・整備・維持管理

・文化財の調査

歴史的建造物「誓元寺 光運殿（旧奉安殿）」等の現地調査・資料調査

・指定文化財の整備

国指定重要無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」 南島組鯨船感應丸横幕復元新調

市指定無形民俗文化財「浜田大山車の舞獅子」 衣装復元新調

市指定有形文化財「龍王山宝性寺本堂」 建具等修理

・文化財説明板の整備

取替え・補修

- ・国指定重要無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」
- ・県指定有形民俗文化財「大入道山車」
- ・市指定記念物（史跡）「冠山茶の木原」
- ・市指定有形文化財（彫刻）「釈迦如来坐像」（暁覚寺）
- ・市指定有形文化財（彫刻）「薬師如来坐像」（薬師堂）
- ・市指定有形民俗文化財「四日市蕉風連中奉納歌仙額」（観音寺）

- ・市指定有形民俗文化財「算額」（神明神社）
 - ・文化財指定地等の除草・清掃
 - 御池沼沢植物群落・東阿倉川イヌナシ自生地・西阿倉川アイナシ自生地・久留倍官衙遺跡・桜町シデコブシ自生地・広古墳A群・大膳寺跡・旧四日市市役所四郷出張所・天武天皇迹太川御遥拝所跡・茂福城跡・冠山茶の木原・保々中世旧跡・永井遺跡公園・貝野遺跡公園 等
 - ・久留倍遺跡保存活用事業
 - 用地取得（22,243.32㎡）、雨水・排水対策、草刈等の維持管理
 - ・旧四郷出張所維持管理事業
 - 管理運営、草刈
 - ・史跡・天然記念物維持管理事業
 - 御池沼沢植物群落の環境整備（樹木代採、腐葉土除去等、植生及び環境調査）
 - ・文化財パトロール
 - 埋蔵文化財や天然記念物等の現状及び環境保全の状況把握を行う調査(埋蔵文化財担当調査員6人・天然記念物担当調査員1人)
- 3 文化財保護の普及・啓発
- ・第57回文化財防火デー（文化財収蔵施設の予防査察と消防訓練 1/24～1/30）
 - ・発掘展（市立博物館 7/24～8/31）
 - ・発掘出土品の展示（市役所ロビー）
 - ・遺跡見学会
 - ・近代化遺産全国一斉公開2010
 - ・出前講座
 - ・文化財整理作業所の見学
- 4 埋蔵文化財の発掘調査等
- 開発計画地内に所在する遺跡で、現状保存が困難なものについて発掘調査を実施し、その記録保存に努めるとともに、文化財整理作業所において出土遺物の整理・復元作業や保管・展示を行っている。
- ・試掘調査…荒井田遺跡・名戸谷口古窯跡（以上、一般国道北勢バイパス建設関連）・赤堀遺跡・赤堀城跡等16遺跡
 - ・工事立会…永井遺跡等27遺跡

博物館

博物館は、重要な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして平成5年11月1日に開館した。内径18.5mの傾斜型ドームのプラネタリウムを併設しており、市民を宇宙の神秘へ誘うとともに、天文知識の普及と啓発にも努めている。

施設概要

所在地	四日市市安島一丁目3番16号	
敷地面積	1,845.84㎡	
建築面積	1,590.40㎡	
延床面積	10,147.11㎡	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建	
	6階	373.48㎡ プラネタリウム
	5階	1,340.81㎡ プラネタリウム、天文展示コーナー、天文学習室
	4階	1,343.05㎡ 特別展示室
	3階	1,251.01㎡ 常設展示室、サルビアギャラリー、丹羽文雄記念室
	2階	1,321.33㎡ 常設展示室、市民ギャラリー
	1階	1,466.32㎡ エントランスホール、講座室、ショップ、情報コーナー
	地下1階	1,536.71㎡ 収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室
	地下2階	1,514.40㎡ 収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室

入館者の状況

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合計	備考
17年度	296日	24,171人	26,940人	42,519人	93,630人	特別展4回・企画展1回
18年度	297日	30,978人	33,098人	35,264人	99,340人	特別展2回・企画展3回
19年度	297日	36,001人	45,980人	41,926人	123,907人	特別展3回・企画展2回
20年度	297日	28,781人	38,347人	36,900人	104,028人	特別展4回・企画展1回
21年度	300日	22,399人	24,956人	38,538人	85,893人	特別展4回・企画展1回
22年度	299日	24,479人	27,903人	45,406人	97,788人	特別展3回・企画展2回

博物館事業

1 常設展

基本テーマ「伊勢湾(うみ)と鈴鹿山脈(やま)のある四日市の文化と生活環境」をもとに、地質時代から現代に至る“四日市のあゆみ”をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1からテーマ6に分けて展示している。常設展示内のサルビアギャラリーでは、学習支援展示や収蔵品展示を随時行っている。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境 「自然のすがた」、「大地のおいたち」、「化石は語る」など、現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ち、自然環境の様子を取り上げている。

テーマ 2 原始・古代の人びとの生活 「石器を使った人びと」、「土器を使った人びと」、「米づくりと青銅器の製作」、「大和朝廷と北勢地域」、「古墳の築造と渡来人の活躍」、「律令国家への道」など、旧石器時代から平安時代までの人びとの生活の様子を取り上げている。

テーマ 3 “四日市” と “四日市庭浦” の成立 「中世の武士と商人」、「伊勢湾諸湊と四日市庭浦の成立」、「くらしと生活用具」、「いのりと信仰の世界」など、田原美作守忠秀が浜田に築城して街道を城の東に移し、定期的に市が開かれて“四日市” の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも“四日市庭浦” が重要な役割を果たしたことなど、鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を取り上げている。

テーマ 4 東海道と伊勢参宮道の賑わい 「近世への胎動」、「宿場と東海道」、「四日市湊と町の展開」など、四日市が東海道五十三次の43番目の宿駅として、また、日永にあっては、伊勢参宮道との分岐点として次第に交通の要衝の地として発展してきた江戸時代の様子を取り上げている。

テーマ 5 四日市港と近代産業の発展 「みなとの整備」、「近代のくらしと社会」、「地場産業と近代産業」など、四日市港の改修と、製糸、萬古焼、製茶、製網、製油などの地場産業に焦点を当てるとともに、市制を施行し、次第に市域を拡大していく幕末・明治から昭和初期までの近代の様子を取り上げている。

テーマ 6 戦災からの復興と都市の創造 「戦中から戦後のあゆみ」、「港湾・産業都市としての再生」など、甚大な被害をもたらした四日市空襲からの復興と、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

丹羽文雄記念室 四日市市名誉市民で、文化勲章受章作家の丹羽文雄の文学と人となりを展示。

2 特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がりを持つ資料の展示等を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。また、その期間中テーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

< 特別展等 平成22年度開催 >

江戸の文様 萬古の色

2010イタリア・ボローニャ国際絵本原画展

なつかしい暮らし

ひめゆり 平和への祈り

サンデー・マガジンのDNA

第52回 北勢地区高等学校美術展

< 学習支援展示 平成22年度開催 >

大昔の四日市 - 弥生時代と古墳時代 -

近代四日市港と稲葉三右衛門

四日市空襲と戦時下の暮らし

3 教育普及活動

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。また、博物館専門職員である学芸員の資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館業務を実習させる。さらに、特別展・企画展の展示解説などの案内を行う博物館ボランティア、学校団体からの見学と博物館教室の子どもたちの活動をサポートする学習支援ボランティア及び館蔵資料の解説を行う古文書ボランティアの充実を図っている。

4 資料の収集保存活動

博物館の最も基本的な機能であり、地域の博物館として四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実に努め、その保存に努める。なお、収集資料の専門事項について、審議または指導・助言をいただくため「資料委員会」を設置している。

5 調査研究活動

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また、内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行う。なかでも、市内所在の資料・コレクション等調査、魅力あるワークショップの調査、次年度以降の特別展・企画展調査に重点をおいている。

プラネタリウム事業

プラネタリウムでは、様々な投映機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会などを市内各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらう。

1 プラネタリウム投映事業

四季の星空と宇宙のテーマを合わせた季節番組や特別番組(生演奏コンサート、CDコンサートなど)により、星座や宇宙・天文の世界を提供する。

保育園、幼稚園、小学校の年齢・学年等に応じた学習プラネタリウムも行っている。

また、天文学の最前線で活躍する講師を招いて天文・宇宙の最近の話題や成果をわかりやすく解説する企画「宇宙塾」の実施や、どなたにもプラネタリウム投映を楽しんでいただくため、解説に字幕を付けたり、赤外線補聴装置の貸出しも行っている。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 一般向け季節番組 平成22年度 | 家族向け季節番組 平成22年度 |
| ・宇宙への挑戦 日本のロケット開発 | ・かいけつゾロリ おうごんの星をさがせ編 |
| ・宵の明星『金星』のふしぎ | ・ポケットモンスター |
| ・宇宙一直線 | ・かいけつゾロリ ちきゅうをめざせ編 |
| ・はやぶさ | ・仮面ライダー |
| ・地球×サイエンス 小惑星衝突の脅威 | |

2 教育普及活動

「天文教育研修」、「子ども科学教室」、「公開観望会」など幅広く天文普及活動を行う。また、三泗地区内にある中学校や小学校と連携した出前授業(移動式プラネタリウム・立体映像システムを活用)も行っている。

- ・「はやぶさ」帰還カプセル展示 平成22年度実施

3 天文展示コーナー

テーマ展示を「宇宙観5000年の歴史」とし、古代から現代にいたる宇宙観の歴史をわかりやすくパネルで展示している。また、天体写真や実物の隕石も展示して宇宙の神秘にふれるコーナーを設けている。

さらにパソコンによる太陽系シミュレーション、天文教材ビデオや日本の宇宙開発のようすなどを見させていただくコーナーを設置している。また、季節の星座やプラネタリウム番組に合わせた展示も行っている。

4 移動天文車「きらら号」

口径20cmの高性能天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」

として、市内各地に出向き観望会を実施する。観望会には天文ボランティア（39名）が交代で参加協力する。また、天文事象（見頃の惑星など）をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘の宇宙の姿を紹介していく。

博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。 [委員数14名：定例会 年2回開催]

四日市市楠歴史民俗資料館

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々庄屋であった岡田家の邸宅であり、いくつかの古文書や神社棟札、文政12年（1829年）の岡田家の古文書に庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推定されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の中に、宝暦10年（1760年）の記載があることから建築年代は18世紀半ば、少なくとも江戸時代中期に、現在の主屋と土蔵が建築され、建築様式から推定すると250年ほど経過していると考えられている。北勢地域においても、歴史的価値が高い建造物であることから、四日市市有形文化財（建造物）に指定されている。平成17年4月に開館し、平成21年度から指定管理者制度を導入し、財団法人四日市市まちづくり振興事業団が指定管理者となって管理運営を行っている。

施設概要

所在地	四日市市楠町本郷 1068 番地
敷地面積	1,229.23 m ² (資料館 932.23 m ² 、駐車場 297 m ²)
建築面積	338.09 m ²
延床面積	448.24 m ²
構造	主屋・立会所 木造瓦葺平屋 209.75 m ² (四日市市指定有形文化財) 蔵 木造瓦葺平屋 39.08 m ² (四日市市指定有形文化財) 水屋 木造瓦葺平屋 2.76 m ² 展示棟 木造瓦葺2階建 196.65 m ²

施設

旧庄屋岡田邸：主屋・立会所・蔵・水屋
展示棟：常設展示室・映像コーナー・企画展示コーナー・事務室・収蔵庫

来館者数

平成20年度：6,397人 平成21年度：7,634人 平成22年度：6,829人

事業概要

夜間特別開館

子ども茶道教室・小学生写生大会・似顔絵展

子ども折り紙教室

地域サークル作品展・自由研究作品展

文化財講座・文化セミナー

企画展示

語り部事業

図 書 館

施設概要

- ・所在地 四日市市久保田一丁目2番42号
- ・敷地 4,738.01㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階
- ・開館 昭和48年7月10日
- ・建物面積 延4,147.42㎡

1階	一般成人室	新聞雑誌コーナー13席・参考図書コーナー10席・軽読書コーナー他26席
	児童室	閲覧席66席
	点字・録音資料室	
2階	一般閲覧コーナー	閲覧席44席・パソコン専用席6席
	地域資料室	閲覧席12席
	視聴覚ホール	座席100席
3階	学習室	座席154席
	一般研究室	座席42席
	スナックコーナー	座席34席・図書館不要図書リサイクルコーナー・飲食コーナー
	会議室	座席24席
	研修室	座席12席

業務内容

開館時間	火・水・木・金曜日は午前9時30分～午後7時 土・日曜日及び祝日は午前9時30分～午後5時
休館日	毎週月曜日、毎月第2と第4火曜日、特別整理期間(6月中の約10日間)、年末年始
館外貸出	本市及び三重郡三町の在学、在勤、在学者と桑名市、いなべ市、東員町住民を対象として1人10冊以内、15日以内で貸し出しする。
自動車文庫	市内に93ヵ所の駐車場を設け、2台の自動車文庫で月1回(8月を除く)巡回し、1人10冊以内で、翌巡回日まで貸し出しする。
資料複写	著作権法の範囲内であれば、申し込みに応じて複写(複写料 白黒1枚10円・カラー1枚50円)。ただし、図書館資料(一部を除く)に限る。
資料相談	電話、文書、来館のいずれでも可

平成22年度事業報告

市民の知的欲求に応じて、その満足度の向上に資するため、図書館の使命を明確にして、資料の収集整備とサービスの質的向上を進め、老朽化する施設を適切に維持管理しながら、31万都市にふさわしい「市民の図書館」づくりに努めた。

市民の多様な学習要望に応えられるよう、適切な蔵書の整備を図り、「住民生活に光をそそぐ交付金」も使用し、23,434冊の図書を受け入れた。

人権・同和問題関係図書・資料の収集・提供に努めた。

市立図書館・あさけプラザ図書館・楠公民館図書室・自動車文庫で借りた図書を各館(室)や駅前返却ポストのいずれでも返却できるように物流システムを構築し、レファレンス業務の一層の充実をはかるなど利用者サービスの向上を図った。また、自動車文庫による地域利用者へのサービス向上にも努めた。

点字・録音図書の充実を図るとともに、点訳及び録音基礎講座を開催し、障害者サービスの啓発に努めた。

市内はもとより、三重県内および周辺地域の地域資料の情報の把握に努め、地域資料の充実と積極的な活用を図り、将来に向けた地域資料室の拡充に備えた。

図書館にふさわしい講座・講演会を開催し、図書館利用者の拡大に努めるとともに、児童室では、職員による赤ちゃんのための読み聞かせを定期的実施し、また学校図書館との連携も取り、子どもの読書活動推進に向けた事業拡大を図った。

三重県図書館情報ネットワークなどインターネットを活用した相互貸借の推進や周辺市・町との連携による市民の広域利用の充実と円滑化を図った。

広報・ホームページを利用した図書館情報の発信や、玄関ホールの一隅に設置した「テーマコーナー」展示を充実させ、蔵書の広報に努めた。

近鉄四日市駅周辺の公共施設である市立博物館や四日市市文化会館と事業等の連携を図った。

図書館のあり方について、平成21年度に立ち上げた市民・有識者からなる「新しい図書館のあり方検討会」では、本市の図書館の方向性についての検討を行い、平成22年10月に教育委員会へ報告書が提出された。

月別事業実施表

月	事業名
4	「子ども読書の日」絵本の読み聞かせ(17日)
6	特別整理期間(8日～18日)
7	夏休み絵本の読み聞かせ(17日) / 手づくり絵本講座(28・29日、8月5日) / 絵本劇場(31日)
8	夕すずみおはなし会(6日) / 子ども点字教室(6日) / 夏休みおはなしびっくりBOX(17日) / 夏休みおはなし会(18日)
9	秋の絵本ライブラリー(11日) / 「読書に関するエッセー」作品募集(1日～10月31日)
10	読み聞かせボランティア講座(9・16日) / 手づくり絵本講座作品展(23日～11月7日)・発表会(24日)
11	点訳基礎講座・音訳基礎講座(6・13・20日) / 出前講座(16日) / 秋の絵本読み聞かせ(20日)
12	「読書に関するエッセー」表彰式(12日) / クリスマスおはなし会(25日)
1	冬の絵本劇場(8日) / 出前講座(20・28日) / 朗読ライブラリー(30日)
2	読み聞かせ入門(12・19日) / 出前講座(24日)
3	春のおはなし会(30日)

過去3年間の利用状況

		20年度	21年度	22年度
開館日数		275	275	275
入館者数	年間総数	281,299	290,579	291,629
	1日平均	1,023	1,057	1,060
登録者数	総登録者数	62,798	62,602	62,137
	個人登録者数(1)	62,380	62,158	61,646
	(うち15才以下)	(12,001)	(11,861)	(11,797)
	点字・録音(個人/団体)	59/76	58/90	66/111
	団体登録者	283	296	314
	個人登録率(%) (2)	19.9	19.8	19.6
貸出冊数		890,354	905,567	916,085
	本館	823,310	839,142	847,962
	(うち雑誌)	(26,303)	(26,776)	(26,163)
	自動車文庫	65,338	64,836	66,520
	(うち雑誌)	(807)	(912)	(710)
	点字録音:(タイトル数)	1,706	1,589	1,603
	録音	1,621	1,534	1,549
	点字	85	55	54
	市民1人当り貸出数	2.8	2.9	2.9
	日曜日の1日平均貸出数	3,700	3,859	3,854
	1日の最多貸出数	5,207	5,270	5,374
調査相談 件数	総数	3,248	1,733	2,229
	口頭	3,210	1,686	2,176
	電話	37	38	36
	文書・メール	1	9	17
予約 リクエスト	総数	36,577	39,995	43,612
	本館(窓口)	18,413	18,433	19,247
	本館(インターネット)	12,587	15,079	17,915
	自動車文庫	5,577	6,483	6,450
複写	件数	3,727	3,664	3,399
	枚数	26,340	26,294	24,203
人口(3)		313,495	313,963	314,162

1 個人登録者数は、5年以上未利用者数を除いた。

2 個人登録率 = (個人登録者 + 点字・録音個人登録者) ÷ 人口。

3 人口は3月31日現在。

蔵書統計（平成 23 年 3 月末現在）

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人	12,336	9,404	2,932	274,516
成人図書	11,382	8,936	2,446	232,332
地域資料	462	5	457	20,228
参考図書	274	451	-177	10,670
製本雑誌	42	0	42	4,181
人権啓発図書	176	12	164	7,105
本館児童	5,589	4,075	1,514	79,489
児童図書・紙芝居	5,015	4,067	948	75,909
製本雑誌	0	0	0	90
人権啓発図書	13	1	12	654
なのはな文庫	561	7	554	2,836
本館外国語(成人・児童)	114	12	102	3,766
本館雑誌(成人・児童)	2,558	2,250	308	20,350
点字・録音資料	89	7	82	3,793
点字資料(冊数)	16	1	15	1,482
録音資料(タイトル数)	73	6	67	2,311
自動車文庫	2,646	4,428	-1,782	49,582
成人図書	2,009	2,694	-685	29,408
人権啓発図書(成人)	4	1	3	998
児童図書・紙芝居	621	1,733	-1,112	19,032
人権啓発図書(児童)	12	0	12	144
自動車文庫雑誌	102	79	23	400
総計	23,434	20,255	3,179	431,896

資料区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
その他資料				
人権関係施設(四館所)	192	400	-208	7,692
地図	61	64	-3	2,241

図書購入費（当初予算）の推移

年度	21年度	22年度	23年度
総額	135,121	128,701	128,768
図書費	25,503	24,303	25,403
その他資料費	3,350	3,350	3,350

市民スポーツ

<スポーツの振興>

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、施設の充実や各種の事業の推進を図るとともに、自立した地域スポーツを組織化するため、総合型地域スポーツクラブの設立を目指している。

各種大会(22年度)

体育指導委員関係行事	四日市市民スポーツフェスタ他	6大会
レクリエーション協会関係行事	レクリエーション大会他	8大会
少年スポーツ団関係行事	スポーツ少年団大会他	8大会
体育協会関係行事	総合駅伝大会他	12大会

各種講習会(22年度)

3講習会 362名参加

各種スポーツ教室(22年度)

39教室 2,222名参加

学校体育施設開放(22年度)

40小学校・22中学校..... 体育館・グラウンド・武道場・プール・テニスコート

総合型地域スポーツクラブ(22年度)

5ヶ所..... 保々、楠、三重、橋北、内部地区

<体育施設の状況>

利用状況の推移

(人)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
697,781	858,225	878,906	903,916	997,233

注 スポーツ以外の利用含む

指定管理者の導入状況

1) 四日市市運動施設指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日 名称：四日市市体育協会・四日市市シルバー人材センターグループ	中央緑地公園運動施設など31施設

2) 四日市ドーム指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成22年4月1日～平成27年3月31日 名称：トーエネックグループ	四日市ドーム

体育施設の設置状況

施設区分	設置ヶ所数	面数等	設備の特徴など
全天候型多目的施設	1	1	ドーム型(9,707㎡)・人工芝
体育館	3	4	トレーニング室併設(1ヶ所)、武道場併設(1ヶ所)
陸上競技場	1	1	第2種公認・全天候型トラック400m
水泳競技場	3	7	流水プール(1ヶ所)、温水プール(1ヶ所)
野球場	5	6	照明設備(2ヶ所)
ソフトボール場	2	3	
サッカー・ラグビー場	3	4	照明設備(1ヶ所)、グリーンサンド(2ヶ所)
テニスコート	4	24	照明設備(2ヶ所)、人工芝(12面)
運動用舟艇場	1	1	30艇係留
弓道場	1	1	5人立ち
武道場	1	4	柔道・剣道場
相撲場	1	1	屋形付土俵
多目的運動広場	1	1	照明設備(1ヶ所)
グランドゴルフ場	1	1	河川敷
地区運動広場	14	-	地区による管理(ソフトボール場・テニスコートなど)

青少年行政

基本方針

大人の責務として地域社会全体で、すべての青少年に「社会的自立への意欲」を育み、成長過程全般にわたる心と体の調和のとれた青少年の健全育成に取り組む。

基本目標

- () 心豊かでたくましい自立した青少年の育成
- () 青少年が心豊かに暮らせる環境づくり
- () 地域ぐるみで取り組む青少年の社会的自立の促進

主要施策

() 心豊かでたくましい自立した青少年の育成

- (1) 子どもたちの学力・体力・気力の向上、望ましい基本的生活習慣の育成などをめざして、子どもの生活リズムの向上に取り組む。
 - 「子どもの生活リズム向上事業」を推進する。
 - ・生活リズムの向上に結びつく実践活動を幼稚園区及びモデル地域で取り組む。
 - ・生活リズムの改善と習慣化を目指し、全小学校で実践テキストを活用した取り組みを行う。
- (2) 青少年がパソコンや携帯電話等を介した犯罪に巻き込まれないために、青少年自身が「自ら考え行動する」力をつけられるよう啓発を行う。また、インターネット等のトラブルから自他の安全を守れるよう、保護者等にも啓発を行う。
 - 携帯電話・パソコンの有害情報等に係る安全安心対策を実施する。
 - ・有害情報等対策講座の開催、有害情報啓発パンフレット等の配布
- (3) 社会的に自立した個人として成長していくよう、家庭教育への支援や地域の大人への意識啓発に取り組む。
 - 家庭教育に関する主体的な学習活動を支援する。
 - ・家庭教育講座事業の実施をPTAに委託
 - 「家庭の日」啓発事業
 - ・「家庭の日」の定着を図るため、家庭の日啓発講演会を開催するとともに、市広報等を活用した啓発活動を実施
- (4) 地域、学校等において、コミュニケーションを大切にした他者とのかかわりの中で、心豊かにたくましく成長する力を発揮できるような自然体験・生活体験等の場や機会を提供できるよう支援する。
 - グループ活動を通じた社会性と自主性の育成を推進する。
 - ・各種青少年団体の自主的な活動への支援、青少年に対する多くの体験活動の場の提供。
 - 体験を中心とした行事の実施を支援する。
 - ・子ども会育成者連絡協議会、各種青少年育成団体等との協同
- (5) 地域活動の中で青少年が中心となって活躍できるようなリーダーの育成を図るなど、行政として側面から支援していく。
 - ジュニア・リーダー、サブ・リーダーの資質と能力の向上を図る。
 - ・リーダー養成講習会の開催

() 青少年が心豊かに暮らせる環境づくり

- (6) 市民全体に対して、大人が良い手本を示すよう理解と協力を求めるとともに、補導活動時の青少年への声かけなどを通して、青少年による非行の未然防止活動を推進する。
地域及び広域における非行等問題行動防止活動を推進する。
・中央補導や地区補導、三四地区広域補導組織による街頭補導活動の実施
青少年問題に関する知識の向上と非行問題や虐待等の防止活動の充実を図る。
・生徒指導定例会の開催
- (7) 警察や関係機関の協力を得ながら、出版物・ビデオ・インターネットなどにみられる有害環境の浄化等に努める。
地域における有害環境の浄化活動、危険箇所の調査及び安全対策を実施する。
- (8) 青少年の非行問題の多様化にともない、課題を持つ青少年及びその保護者の悩みに対応するため、相談活動を実施する。
面接及び電話による「青少年と家庭の悩み相談」「いじめ等教育相談」活動を実施する。
青少年相談員による、青少年及びその家族への指導・助言活動を実施する。
- (9) 放課後の過ごし方等について、青少年が、コミュニケーションを大切にし他者とのかかわりを持ちながら、安全で安心して豊かに成長していくことができる心温かな地域の環境づくりを推進する。
「子どもと若者の居場所づくり事業」を推進する。
下校後、留守家庭の児童を対象に学童保育事業を行う地域の運営委員会に対して助成を行う。
放課後子ども教室推進事業を実施する。
地域で整備する子ども広場に対する助成を行う。
登下校時等の子どもの安全対策を行う。
・登下校安全指導員による小学校区内を中心とした巡回
・「こどもをまもるいえ」の設置推進及び「子ども110番みまもりたい」活動の推進

() 地域ぐるみで取り組む青少年の社会的自立の促進

- (10) 企業などとも連携、協働した育成活動の促進を図り、「早ね 早おき 朝ごはん」市民運動など、地域の教育力向上に向けた取り組みを進めていく。
地域ぐるみで子どもの生活リズムの向上に取り組む。
・四日市市PTA連絡協議会、企業等と連携した啓発活動の取り組み
- (11) 市民が互いに協働して、地域の子どもは地域で育てていこうという気運を高め、行動に移していけるような支援施策を展開していく。
「社会を明るくする運動」を推進し、啓発活動等を実施する。
「青少年の非行・被害防止全国強調月間」中に啓発運動を展開する。
「子ども若者育成支援強調月間」中に啓発活動を実施する。

() その他

- (12) 新成人による成人式企画委員会を設置し、記念式典のほか、新成人の宣言及び恩師のビデオメッセージを行った。(1月9日(日) 四日市市文化会館 参加者数 約2,200人)

青少年健全育成施設（四日市市少年自然の家）

1. 少年自然の家の設置目的（社会教育施設）

当施設は、豊かな自然の中で集団宿泊活動、野外活動、自然探求等を通じて、心身ともに健全な青少年を育成することを目的に設置された社会教育施設である。

2. 教育目標

『自然の中で、自分を磨き、友達の輪を広げよう』

3. 運営方針及び事業

- (1) 青少年の主体的な体験活動の推進・支援
- (2) 社会教育と学校教育の連携の支援・促進
- (3) 家庭教育の支援と促進
- (4) ボランティアの活用・養成
- (5) 施設・設備の充実

4. 施設概要

- (1) 所在地 四日市市水沢町字大谷1423 2
- (2) 指定管理者 株式会社小学館集英社プロダクション
- (3) 本館・分館・水沢市民広場

	本館 そよかぜ、こもれび	分館 せせらぎ	水沢市民広場
宿泊定員	177人	101人	-
各施設	1階 事務室、医務室、会議室、浴室、 総合研修館兼体育館等 2階 宿泊室、食堂、リーダー室等 3階 宿泊室、研修室、リーダー室等	1階 研修室、大広間、 創作室、乾燥室、 リーダー室等 2階 宿泊室、講義室、 リーダー室等	芝生広場
建築延床面積	3,066㎡	1,339㎡	10,000㎡（敷地面積）
構造	鉄筋コンクリート3階建て	鉄筋コンクリート2階建て	芝生広場
建設年度	昭和62年	昭和48年	平成4年
建設費	9億7,010万円	1億7,650万円	2億940万円

(4) その他の施設

キャンプ場(収容人数 160人、テント 20張り)、ファイヤー場、ふれあいの森、野外炊事場

5. 利用状況

施設 年度	本館・分館		キャンプ場		市民広場		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市内	市外
17	213	16,881	42	2,190	75	3,674	19,045	3,700
18	190	16,000	42	2,170	94	5,560	18,575	5,155
19	172	15,206	38	1,708	91	5,959	18,065	4,808
20	188	15,955	37	1,555	85	4,896	17,955	4,451
21	169	28,947	59	2,685	90	6,191	28,393	9,430
22	193	31,855	90	4,090	129	7,657	30,901	12,701

人 権 教 育

本市が進める人権教育は、これまでの同和教育の実践が積み上げてきた理念や成果を踏まえ、世界の人権教育に学びつつ、自分自身、家庭、職場、地域と具体的に結びついたものを取り上げ、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解消を目指し、人権が普遍的に存在しうる社会の構築を図ることです。そのためには、主体的に人権教育を推進する人づくりと多様な学習の場の提供などを推し進めます。

学校人権教育（指導方針）

人権を尊重し、差別をなくす実践力の育成

子どもたちが同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を自らの問題として自覚し、生活の中にある課題の解決を図っていくために、教職員は園・学校のあり方を人権尊重の視点で見直していく必要がある。さらに、この視点から教育目標や年間指導計画の策定に努め、あらゆる差別をなくす実践力につながる人権教育を推進していくことが求められる。

個々の自主性・自立性を基盤として、差別を見抜く力、差別を許さない心情、差別をみんなで解消する意欲と実践力を育成する。

家庭との連携を深め、子どもたち一人一人の生活実態とその背景から課題を明らかにし、課題解決に向けて支援する。

子どもたちの課題意識に基づく学びが生き方と結びつき、自らの生活へつなげていける実践力となる人権を視点にすえた総合的な学習を推進する。

教職員があらゆる差別を許さない人権意識を身につけ、学校・園や地域における人権教育推進の担い手としての自覚と力量を高める。

人権教育推進計画に基づく校内研修体制の充実と地域内の学校や園での実践の交流を推進する。

人権教育に関する研修会や研究会に積極的に参加し実践力を高める。

幼児・児童・生徒の人権活動

- ・人権啓発ポスターの募集（対象：保育園・幼稚園児、小学生、中学生、高校生／募集締切：9月17日）
- ・人権作文の募集（対象：小学生、中学生、／募集締切：1月17日）
- ・市中学校ブロック子ども人権フォーラム（対象：小学生、中学生／開催日：各ブロック随時）
- ・人権のひろば展（開催日：12月4日～5日／展示内容：人権ポスター）

教職員資質向上・人材育成

- ・人権教育推進委員研修会（対象：小・中学校推進委員／5月21日）
- ・人権教育実践研修会（対象：小・中学校中堅教員／7月29日 幼稚園教員／7月21日）
- ・人権教育新規採用教職員研修会（対象：新採教職員全員／8月19日）
- ・人権教育リーダー育成研修会（対象：小・中学校教員31名／研修日4回）
- ・人権教育リーダーフォローアップ研修会（対象：前年度までのリーダー育成研修会参加者186人／12月27日）
- ・いじめや差別をなくす人権意識向上研修（市作成研修冊子を活用した研修会を市内小・中学校で実施）

指導用図書及び資料の配付

- ・学校人権教育のてびき（第52集）
『学校における人権学習プログラム』

県・市人権教育指定校園

委託事業名	学 校 名 等	期 間
市人権教育推進校園 指定事業	桜幼稚園 神前幼稚園 保々小学校 高花平小学校 笹川西小学校 南中学校 常磐中学校	1 年
子ども人権文化創造 事業	市内5地区	1 年
市中学校ブロック人 権文化創造事業	22中学校ブロック	1 年

人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・ 電話番号	建設 年月日	構造	敷地 面積 m ²	建物 延べ m ²	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目 1-21 TEL351-7609	S50.11.7 増築 H15.2.24	RC造 2F	697.52	250.50	1階 事務所、料理実習室、和 室 2階 ホール、図書室
赤堀児童 集会所		S52.3.31 増築 H60.3.29	RC造 2F			558.00
人権プラザ 天白	日永二丁目 5-15 TEL346-2803	S48.9.30 増築 H15.3.14	RC造 2F	864.00	253.26	1階 事務所、料理実習室、和 室2 2階 ホール
天白児童 集会所		S58.3.31 増築 H3.3.31	S造 平屋			258.17
人権プラザ 小牧	市場町 1041-24 TEL339-0909	S48.3.15	RC造 2F	1650.00	301.00	1階 事務所、相談室 2階 教養室、図書室
小牧児童 集会所		TEL339-1287	S50.3.31			S造 平屋
人権プラザ 神前	寺方町2281 TEL326-0840	S50.4.30	RC造 2F	756.58	309.18	1階 事務所、料理実習室、相 談室 2階 ホール、図書室
寺方児童 集会所	寺方町2251 TEL326-5022	S52.8.31 増築 S60.3.30	S造 平屋	1799.79	486.84	ホール、学習室、図書室、幼児 室、 図工室、ステージ、職員室
神前 柔道教室	曾井町494-3 TEL326-4236	S52.5.25	S造 平屋	713.14	204.39	柔道場、相撲場

教育・視聴覚センター

施設の概要

施設目的	教職員研修、教育課題研究、特別支援教育、教育相談、不登校対策、教育情報環境整備、広報普及、視聴覚ライブラリーの事業を実施して、学校・園の教育の振興を図るとともに、広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館6,7,8F 日永東一丁目2 28 適応指導教室(ふれあい教室)
施設	事務室 個別学習室1・2 集団学習室1・2 研究室 情報教育室 会議室 視聴覚ライブラリー 第1～3研修室 視聴覚室 適応指導教室

業務内容(平成22年度)

事業名	内容
研究	重点課題研究推進校による研究推進 課員による課題研究の推進 教育図書、研究資料の整備、提供 研究報告書、研究資料、ニュースの刊行
教職員研修	教職員研修の企画・運営 (教職員研修講座の企画・運営、教師力向上サポートブックによる自己相互研鑽の推進、若手教員・ミドルリーダー教員研修の推進等) 乳幼児教育研修の企画・運営 三四教育研修運営委員会……研究協議会活動、教育研究大会、教育講演会
教育相談	不登校や発達、行動等に課題のある子どもと、その保護者・教職員に対する相談支援(来所相談、学校・園への巡回相談(就学相談を含む)、電話相談、他の相談機関との連携調整) 4歳児から小学校2年生を対象とした自信を高めるための4つの教室による言語や発達等に課題のある子ども及び保護者への支援(幼児ことばの教室・ともだちづくり教室・まなびの教室・子どもの見方ほめ方教室) 「ふれあい教室」での不登校児童生徒に対する学校復帰・社会的自立に向けた支援 嘱託精神科医や小児科医による相談員等への指導・助言 臨床心理士等によるカウンセリングやプレイセラピー及び諸検査の実施 学生ボランティア「ふれあいフレンド」による不登校児童生徒への自立に向けた支援活動
情報教育	教育情報通信システムの環境整備と活用や運用の支援 情報教育推進のための調査・研究
視聴覚センター	視聴覚ライブラリーにおけるDVD、ビデオテープや16ミリフィルム、プロジェクターなどの貸出し